

= 岐阜高専 = ふれあいエコサイエンス広場を開催

岐阜高専は、12月18日(日)、産学連携協定を締結している十六銀行との産学連携事業「ふれあいエコサイエンス広場 in モレラ岐阜 2011」を大型商業施設モレラ岐阜(本巣市)で開催した。

このイベントは、同校がサテライトキャンパスを開校して推進しているアウトリーチ活動の一環で、学生が「ものづくりリテラシー教育実習」及び「専攻科科学技術リテラシー教育実習」により修得したことを工作教室及び体験ブース等で実演・説明することにより、学生の資質向上と地域における科学技術の啓発を目的としたものである。昨年度に続いて2回目の開催であり、約1,000名の来場者があった。

今年度は、カップ麺容器を使ったホバークラフト、LEDを使った星座のインテリア、ペットボトルと電子部品を組み合わせて作る風力発電装置、橋の製作&強度実験などの工作教室、ロボットや防災に関する展示体験や岐阜県地球温暖化防止活動推進センターによるエコ講座などを通して、小中学生の親子等の来場者に、省エネやエコについての理解を深める機会を提供した。

また、同時に「アイデア対決・全国高専ロボコン2011全国大会」に5年連続出場を果たしたロボット研究会の部員による大会出場ロボットの実演と操縦体験を行い、来場者は、その精巧なしくみや巧みな説明に歓声や大きな拍手を送っていた。



カップ麺の容器でホバークラフトを製作する親子